

国内グループ会社

ゼオンメディカル

会社紹介

ゼオンメディカルは 1970 年代からの人工腎臓、続いて補助人工心臓の研究をしていた日本ゼオン株式会社の医療事業を継承して、1989 年に該社の 100%子会社として設立されました。以降、主に循環器系、消化器系の医療機器の開発・製造・販売を行うユニークな国産メーカーとして社会貢献に努めてきました。

医療を取り巻く環境が大きく変化する中で、当社は人の生命を守るだけでなく、生活の質向上のために、社員ひとりひとりが責任感と使命感をもって、独創的な技術で今後も製品を開発、改良していきます。

当社は、医療を提供されている医師をはじめとする医療従事者の方々が安心してご使用いただける、安全で高品質な製品をお届けできるように愚直に取り組んでいきます。



柳田 昇社長



ゼオンメディカル研究所・工場



環境安全活動

1. 環境負荷削減の取り組み

PRTR 法の対象化学物質の排出量を減らす方策としては、これまで通り、エチレンオキシドの使用量を最少にすべく、現在 4 基保有する滅菌装置を生産状況に合わせ、できるだけ最低限の稼働基数となるようにしています。その結果、トータル使用量の削減には至っていませんが、生産増に対して使用量は維持できています。

電力使用量の削減については、温度管理設定や不要照明の消灯や間引き等、地道な省エネ活動を継続していますが、クリーンルームを有するため、気候の影響を大きく受け、また生産量増による電気使用量増の要因があり、省エネの効果は顕著ではありません。

2. 環境関連データ

ゼオンメディカル(株)		2010 年度	2011 年度	2012 年度	2013 年度	2014 年度
PRTR 法対象物質	対象物質数	1	1	1	1	1
	使用量(トン)	2.3	2.2	1.6	1.6	1.6
	排出量(トン)	2.3	2.2	1.6	1.6	1.6
産業廃棄物	減容前発生量(トン)	8	22	10	9	10
	埋立処分量(トン)	7.6	11.2	5.0	4.3	4.5
水資源(工業用水+地下水+上水道)使用量 (千 m ³)		-	11.7	14.3	17.8	21.9
CO ₂ 排出量(トン)		970	969	1,143	1,123	1,003
エネルギー使用量(原油換算、kL)		462	431	511	539	401

地域との共生活動

ゼオン高岡グループの活動として、近隣の国分浜および氷見海岸の清掃奉仕活動、近隣地区のゴミゼロ活動に継続的に参加しています。

また、富山県の医療機器産業育成への活動として、とやま医薬工連携研究会、中部経済産業局北陸支局、高岡市産業企画との情報交換、イベントへの参加等で、地域の企業と連携ができないか検討を進めています。

研究開発においても、富山工業技術センターの研究会に参加し、地域企業との連携による開発を進めています。